

1 単元名 数学へのかけ橋

2 単元について

6年生の3学期は、小学校での学習のまとめの時期である。中学校へ向けて、これまでの学習を振り返り、それぞれの単元で学習してきたことを関係づけ、まとめておく必要があると考える。

「資料の整理と読み」という点から振り返ると、棒グラフや折れ線グラフなどに加え、6年生では新たに柱状グラフを学習した。集団の代表値としての平均値や最大値・最小値、最頻値などの考えにも触れてきている。これらの学習をもとに、自分の考えをもとにして表現することを大切にしたいと考えた。

本単元は、「資料の調べ方」の学習後に、特設単元として設定する。

架空の会社とその会社に勤めている人の月収をもとのデータとして子どもたちに示す。それらの会社に勤めているすべての人のある月の月収がわかっている状態で、子どもたちには自分ならどの会社に入りたいかを選択させる。子どもたちは与えられたデータを読み取りながら、「お給料が安定している方がいい」、「だんだんもらえるお金が増えていくところがいい」など、自分のもつ価値観をもとに会社を選択する。その価値観を、「平均月収が高い方がいい」、「最高の月収が高い方がいい」、あるいは「最低の月収が高い方がいい」、などデータから判断することのできる観点に置き換えて考える。子どもたちが会社を選んだときの観点は、言い換えれば、その会社のアピールポイントでもある。自分が会社を選ぶために考えたことを振り返りながら、判断した根拠を式や表、グラフなどにまとめ、会社をアピールするポスターを作成する。

本時では、作成したポスターを使って「会社説明会」を開催する。採用者側(発表者)と、入社希望者側(聞き手)に分かれた発表会を行う。説明する側は、多くの友達に自分の会社を選んでもらえるように会社をアピールする。入社希望者側は、説明を聞きながら、その会社に入りたいかどうかを判断する。その過程で、質疑を通して、もとのデータへの理解を深める時間にしたい。

3 学習指導計画(全5時間/4時間目)

第1次 データをもとに会社を選択し、会社の良さを伝える。ポスターを作成する。…2時間

第2次 「会社説明会」を開催する。…本時2/2時間

第3次 「会社説明会」の結果をもとに、ポスターの改良点を考える。…1時間

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

- ・式や表、グラフをもとに、自分の考えを発表することができる。
- ・式や表、グラフを見ながら、もとのデータについて考えることができる。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 本時の流れを確認する。	・前時を振り返りながら確認する
2 「会社説明会」を開催する。 (発表者)・自分の選んだ会社の良さを説明する。 (聞き手)・説明を聞きながら不明なところはないか考える。 ・説明を聞いて、どの会社に入社したいか決める。	・わかりにくいところは質問するように声をかける。 ・聞き手から出た質問を板書する。
3 本時の学習を振り返る。	・判断した観点到留意するように指導する。